

手賀川・下手賀沼 水生植物分布調査

2020年度に手賀沼本体のヒメガマ・マコモ調査を実施し、我孫子市根戸新田地先、柏市片山新田地先などにあったマコモ群落の衰退し、下沼に多く分布していたヒメガマ群落も大規模に衰退しているのを確認しました。衰退の原因は、現時点で特定できていません。今年度は、沼本体以外の区域の分布状況を調査しました。調査エリアは手賀川、下手賀川、下手賀沼です。2019年8月にいであ株式会社分布調査した環境基図（水生植物分布状況）と照合しながら行いました。

日時：2021年4月7日（月）9:10～12:20

行程：手賀沼フィッシングセンター棧橋→手賀川→下手賀川→下手賀沼（折り返し）→センター棧橋

船の運航：みずすまし号 古川、他2名（NPO法人アルバトロスヨットクラブ）

参加：千葉県立中央博物館 林紀男さん 美手連9名



※環境基図概要図（水生植物分布状況）：いであ株式会社 2019年8月調査・作図

ヒメガマは沼本体と同様に衰退している箇所があった。浅間橋下流の中洲に幅広く带状に繁茂していたヒメガマ帯は生育密度が減少し、水道橋下流のヒメガマは消失していた。しかし、その他のヒメガマ・マコモは、2019年分布調査時とほぼ同様のエリアで生育を確認したが、芽吹き始めた時季で、繁茂状況を正確に把握することはできなかった。夏季の繁茂期に再調査する必要がある。